

『預かり保育管理をICT化』導入ガイドでは、
 申込受付から打刻管理、利用料の計算といった
 事務作業のどの部分をICT化できるかを確認します。

ガイドのダウンロードはこちら >>

製品説明やデモのご依頼はこちら >>

【ガイドの目次】

1. 預かり保育管理の業務課題
2. 園での業務課題をチェック
3. ICT化による業務改善
4. 打刻管理もICT化
5. LeySerKidsのメリット
6. おすすめの導入ステップ



申込用紙や打刻表といった手書き用紙をペーパーレス化、
 利用時間から請求額の自動計算をICT化が実現!



利用する日を
 カレンダー選択



2. 園での業務課題をチェック

前ページで一般的な課題を挙げていたましたが、園によっては該当しないこともあるかと見えます。
 まず自園での業務方法を確認することで課題や解決方法が見えてきます。以下の内容に近い業務を行っている場合は
 該当するにチェックしてください。

預かり保育管理業務のチェックシート

No.	業務内容	該当する
1	申込管理	
2	申込記録	
3	変更対応	
4	席	
5		

1. 預かり保育管理の業務課題

子育て支援の一環として始まった幼稚園・認定こども園の預かり保育ですが、幼児教育・保育の無償化制度に合わせた書類作成に苦慮されている園も多いようです。制度改正後、預かり保育が本来の教育活動よりも事務処理業務に
 預かり保育の一般的な事務業務となる申込受付から打刻管理、保育料計算までの流れと課題を確認してみましょう。

園の課題と保護者の悩み

申込受付

保護者から申込用紙を受け取り、日ごと利用者や利用時間をリストアップ。キャンセルや変更の連絡を受けるたびに更新して管理している。

保護者

利用のために申込用紙に記入して提出。まとめて申し込んだ場合はキャンセルや変更の電話連絡が必要だけど、控えているので家庭でもカレンダーに記入している。

利用時間までは覚えていないので、請求書に記載されている時間数を信じている。気になっても、わざわざ先生に確認するのが手間だし、疑うようになりがち。

3. ICT化による業務改善

預かり保育を申込制で運用されている園においては、申込書や出欠管理など大量の用紙管理に加え、電話による突然のキャンセルや利用時間の変更で、日々の人数管理や月締めの集計が煩雑になることもあるようです。システムでの管理は、用紙管理や手入力・手計算をなくし事務業務の効率化だけでなく、今日の保育人数は？誰が何時まで？を先生たちがリアルタイムで確認できます。

LeySerKids がペーパーレスを実現。



先生はスマホでリアルタイムに園内の情報共有



園はパソコン操作だけ



申込開始のお知らせ配信

受付結果のお知らせ配信

園の実務にそった無理のない段階的なICT導入をご提案いたします。
 お気軽にご相談ください。デモもご覧いただけます。